

日本生物工学会は生物工学分野の基礎学の進歩に寄与した本会会員に対し、生物工学奨励賞（斎藤賞）を授与しています。受賞候補者は、その業績が主として本会学会誌に発表されたものを対象としています。

→[推薦要領はこちら](#)

受賞者一覧

	受賞年	受賞者	所属（受賞当時）	受賞課題
第60回	2024年 (R.6)	田中 祐圭	東工大・物質理工学院	微生物によるバイオナノミネラリゼーションの解析とその研究展開
第59回	2023年 (R.5)	吉野 知子	農工大・工	希少細胞を対象とした単一細胞解析技術の開発と応用 (生物工学会誌102巻3号掲載)
第58回	2022年 (R.4)	Sastia P. Putri	阪大院・工	代謝工学・食品工学のためのメタボロミクスの新展開 (生物工学会誌101巻3号掲載)
第57回	2021年 (R.3)	諸星 知広	宇都宮大・工	細菌間コミュニケーション機構の解析とその応用 (生物工学会誌100巻3号掲載)
第56回	2020年 (R.2)	森田 友岳	産総研	機能性バイオ素材の普及・拡大に資する応用微生物学的な基礎研究 (生物工学会誌99巻3号掲載)
第55回	2019年 (R.1)	佐々木 建吾	神戸大院・科技イノベ	 持続可能・健康社会の構築に向けた複合微生物系の制御 (生物工学会誌98巻3号掲載)
第54回	2018年 (H.30)	本田 孝祐	阪大院・工	 好熱性酵素を用いた細胞外人工代謝経路の構築と利用に関する先駆的研究 (生物工学会誌97巻3号掲載)
第53回	2017年 (H.29)	古賀 雄一	阪大院・工	 超好熱菌由来酵素の構造機能相関研究とその応用 (生物工学会誌96巻3号掲載)
第52回	2016年 (H.28)	松浦 友亮	阪大院・工	 セルフリータンパク質合成系を用いた進化分子工学技術の開発 (生物工学会誌95巻3号掲載)
第51回	2015年 (H.27)	吹谷 智	北大院・農	 ビフィズス菌における実用的な遺伝子変異導入系の開発 (生物工学会誌94巻3号掲載)
第50回	2014年 (H.26)	蓮沼 誠久	神戸大	 代謝プロファイリングに基づく微生物育種技術の開発と応用 (生物工学会誌93巻3号掲載)
第49回	2013年 (H.25)	菊地 淳	理研	 安定同位体標識による生体分子混合物ならびに代謝経路解析 (生物工学会誌92巻3号掲載)

第48回	2012年 (H.24)	大河内美奈	名古屋大	 ナノ磁性微粒子を用いたテクノロジーの開発と応用 (生物工学会誌91巻6号掲載)
第47回	2011年 (H.23)	中川 智行	岐阜大	 酵母のメタノール代謝制御の分子メカニズムの解明とその応用 (生物工学会誌90巻2号掲載)
第46回	2010年 (H.22)	馬場 健史	阪大院・工	 メタボロミクスの技術開発と応用 (生物工学会誌89巻3号掲載)
第45回	2009年 (H.21)	杉山 峰崇	阪大院・工	 出芽酵母におけるゲノム工学技術の開発と応用 (生物工学会誌88巻2号掲載)
第44回	2008年 (H.20)	金山 直樹	岡山大院 自然科学	 高親和性抗体の産生機構に関する基礎研究とその工学的応用 (生物工学会誌87巻3号掲載)
第43回	2007年 (H.19)	芦内 誠	高知大・農	 バイオキラルナイロンの生産に関する微生物科学的基礎研究 (生物工学会誌86巻2号掲載)
第42回	2006年 (H.18)	前田 勇	宇都宮大・農	 細菌ポリエステルおよび関連代謝の新規利活用システムに関する研究 (生物工学会誌85巻2号掲載)
第41回	2005年 (H.17)	野村 暢彦	筑波大院 生命環境	 微生物による石油成分系化合物の代謝研究とその多角的応用研究 (生物工学会誌84巻4号掲載)
第40回	2004年 (H.16)	福崎 英一郎	阪大院・工	植物代謝工学に資する基礎技術に関する研究
第39回	2003年 (H.15)	該当者なし		
第38回	2002年 (H.14)	黒田 章夫	広島大	微生物におけるポリリン酸代謝制御機構の解明と利用
第37回	2001年 (H13)	吉田 和哉	奈良先端大	植物の遺伝子発現制御機構の解析と応用
		中山 亨	東北大院・工	生体触媒の新しい機能・特性の探索と解析
第36回	2000年 (H12)	神崎 浩	岡山大・農	微生物由来のジケトピペラジン環化合物代謝酵素による生理活性物質生産
第35回	1999年 (H11)	栗木 隆	江崎グリコ	a-アミラーゼファミリーの概念とそれに基づいた澱粉関連酵素の特異性変換
第34回	1998年 (H10)	山下 光雄	阪大院・工	有用酵素・タンパク質の機能改良に関する研究

第33回	1997年 (H.9)	山田 隆	広島大・工	クロレラ染色体基本構造ユニットの解析とその再構成による人工染色体のモデル化
第32回	1995年 (H.7)	四方 哲也	阪大・工	タンパク質配列空間上の地形の実験的描写
第31回	1994年 (H.6)	高木 昌宏	阪大・工	<i>Bacillus</i> 属細菌由来菌体外酵素の解析と利用
第30回	1993年 (H.5)	植田 充美	京大・工	酵母ペルオキシソームの機能と発達の分子生理学的研究とその展開
第29回	1992年 (H.4)	築瀬 英司	鳥取大・工	<i>Zymomonas</i> 細菌の分子育種と糖代謝に関する研究
第28回	1991年 (H.3)	根来 誠司	阪大・工	ナイロンオリゴマー分解酵素の性質とその遺伝子構造
第27回	1990年 (H.2)	杉山 政則	広大・医	放線菌の抗生物質耐生機構に関する研究
		仁平 卓也	阪大・工	放線菌信号伝達物質の構造と機能
第26回	1989年 (H.元)	浦上 貞治	三菱瓦斯化学	C1 資化性微生物の分類と応用に関する研究
第25回	1988年 (S63)	杉尾 剛	岡山大・農	鉄酸化細菌の利用に関する基礎的研究
第24回	1987年 (S62)	今中 忠行	阪大・工	微生物の酵素生産に関する基礎的研究
第23回	1986年 (S.61)	長谷川 淳三	鐘化	光学活性β-ヒドロキシ酸の醗酵生産
第22回	1985年 (S.60)	卜部 格	阪大・工	高分子化補酵素の合成とその酵素リアクターへの応用
第21回	1984年 (S.59)	東江 昭夫	広大・工	酵母ホスファターゼ生産の調節機構に関する研究
第20回	1983年 (S.58)	園元 謙二	京大・工	プロポリマー法による生体触媒の固定化とその応用
第19回	1982年 (S.57)	高橋 里美	鐘化	DL-5 置換ヒダントインを用いる D-アミノ酸の微生物的合成
第18回	1981年 (S.56)	木下 晋一	阪大・工	非天然型化合物に作用する酵素
第17回	1979年 (S.54)	中西 透	協和発酵	L-グルタミンおよび N-アセチル-L-グルタミンの醗酵生産と醗酵転換機構
第16回	1978年 (S.53)	新家 龍	神戸大・農	微生物による β-アミラーゼの生産に関する研究
第15回	1977年 (S.52)	河合 弘康	奈良女子大	糖ヌクレオチドの醗酵生産とその代謝機構に関する研究
		関口 順一	熊本工大	<i>Bacillus subtilis</i> の α-Amylase の生産性の遺伝

第14回	1976年(S51)	土戸 哲明	阪大・工	微生物の加熱損傷に対する薬剤の併用効果
第13回	1975年(S50)	松島 宏親	三共	醗酵法によるL-イソロイシンの工業的製造法に関する研究
		北野 一昭	武田薬品工業	β-ラクタム抗生物質の生産に関する研究
第12回	1974年(S49)	堀田 国元	微化研	<i>Rhizopus</i> 属と細菌の連関作用によるフマル酸醗酵からの転換醗酵
第11回	1973年(S48)	野々村 英夫	山梨大	土壌中における放線菌の分布
		八木 寿一郎	藤沢薬品工業	<i>Cephalosporium</i> の生産するアルカリ性プロテアーゼに関する研究
第10回	1972年(S47)	今原 広次	京府大・農	醤油の産膜性酵母に関する研究
第9回	1971年(S46)	北田 牧夫	理化学研究所	麴酸醗酵に関する研究
第8回	1970年(S45)	田中 渥夫	京大・工	微生物による炭化水素の利用
第7回	1969年(S44)	岡崎 光雄	阪大・工	微生物酵素生産動力学に関する研究
第6回	1968年(S43)	箕浦 久兵衛	阪大・工	<i>Cladosporium</i> 属菌の分類学的研究
		今井 和民	岡山大・農	硫黄細菌の生化学的研究
第5回	1967年(S42)	立花 精	立命館大	炭酸固定醗酵に関する研究
第4回	1966年(S41)	渡部 一穂	理化学研究所	<i>Aspergillus awamori</i> の生産する糖化アミラーゼの研究
第3回	1965年(S40)	大嶋 泰治	サントリー	酵母の糖醗酵性にかんする遺伝子解析
第2回	1964年(S39)	松村 親	武田薬品工業	<i>Aspergillus saitoi</i> の生産するセルロース分解酵素の研究
第1回	1963年(S38)	江夏 敏郎	阪大・工	真菌によるアントラニル酸の代謝とトリプトファン醗酵の研究
		高橋 光雄	奈良学芸大	細菌キシラーゼに関する研究

[▶このページのTopへ](#)

[▶学会賞Topへ](#)

※PDFファイルをご利用いただくためには[Acrobat Reader](#)（無料）が必要となります。[ダウンロードはこちら](#)から。